

教科:(情報) 科目:(情報Ⅰ) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組:田代幸長 ㊟)(2組:田代幸長 ㊟)(3組:田代幸長 ㊟)(4組:田代幸長 ㊟)(5組:田代幸長 ㊟)(6組:田代幸長 ㊟)

使用教科書:新編情報Ⅰ(東京書籍)

使用教材:新編情報Ⅰ(東京書籍)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人の関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの観点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

指導内容 【年間授業計画】	情報Ⅰの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
4月	情報モラルについて理解する。	情報モラルについて理解する。	知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	情報とメディアについて理解する。 問題解決の5つのステップについて理解する。	問題解決の5つのステップについて理解する。	知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
5月	発想法の種類や、使用する場面について学ぶ。	発想法の種類や、使用する場面について理解する。	知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	個人情報を理解し、個人情報の扱い方について学ぶ。	個人情報の扱い方を理解する。	知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	サイバー犯罪やネット上で問題行動が起きやすい理由を理解する。	サイバー犯罪について理解する。	知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	著作権について理解する。	著作権について理解する。	知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	中間考査		知・技・思・判・表・ 態 定期考査	○	○		1
	情報技術の進歩の様子を知り、より良い付き合い方について学ぶ。	VRやARについて理解する。	知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
コミュニケーション手段の遷り変りを学び、適切な使い方を学ぶ。	情報機器への適切な接し方を理解する。	知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2	

	指導内容 【年間授業計画】	情報 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	ネットコミュニケーションの特徴を理解する。	記録性や匿名性について理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	コンピュータ内部での表現方法を理解する。	2進法の桁の意味を理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	音と画像のデジタル表現を理解する。	音と画像が2進法で表現されていることを理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
7月	期末考査		知・技・思・判・表・態 定期考査	○	○		1
	データの圧縮について理解する。	目的に応じた情報の圧縮について理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	情報 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	情報デザインの方法である、抽象化・可視化・構造化について理解する。	デザインについて理解し、抽象化・可視化・構造化について理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	ユニバーサルデザインについて理解する。	ユニバーサルデザインについて理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	コンピュータの5大装置、ソフトウェアについて理解する。	コンピュータの5大装置を理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	基本的な論理演算を理解する。	OR, AND, NOT回路を理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	中間考査		知・技・思・判・表・態 定期考査	○	○		1
	アルゴリズムについて理解する。	フローチャートについて理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	情報 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	プログラムの基本構造を理解する。	演算子について理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	発展的なプログラムについて理解する。	順次・分岐・反復構造を理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	モデル化とシミュレーションについて理解する。	モデル化の方法を理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
11月	ネットワークによってできるようになったことを理解する。	シミュレーションを通して有用さを理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	TCP/IP参照モデルを学び、インターネットの仕組みについて理解する。	ネットワークの基本概念について理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	クライアントサーバシステムについて理解する。	クライアントサーバシステムについて理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	電子メールの仕組みやwwwの仕組みを理解する。	ドメイン名の構造を理解する。	知・技・思・判・表・態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	情報 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	期末考査	知・技・思・判・表・ 態 定期考査	○	○		1	
	セキュリティの3要素を学 び、情報セキュリティを 意識する態度を身に着け る。	セキュリティの3要素を理解する。	知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	質的データ量的データ、 データの尺度について理 解する。	データの尺度について理解する。	知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	データベースの役割につ いて理解する。	データベースの利便性を理解する。	知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
1 月							
	データモデルについて理 解する。	データモデルの種類を理解する。	知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	データ分析の流れを理解 する。	データ分析の流れを理解する。	知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
	目的に合わせたデータの 利用について理解する。	データ分析の方法を理解する。	知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	2
総復習		知・技・思・判・表・ 態 資料ノート 確認問題(forms)	○	○	○	5	

指導内容 【年間授業計画】	情報 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
		知・技・思・判・表・ 態 定期考査				1

2月

3月

教科:(情報) 科目:(アプリケーション) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組~5組:田代 ㊟)

使用教科書:新編情報 I (東京書籍)

使用教材:新編情報 I (東京書籍)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
コンピュータ周りの知識や、文書処理ソフトウェアの操作方法、表計算ソフトウェアの操作方法や、プレゼンテーションソフトウェアの操作方法を身に着ける。	プログラミングなどを通して自分の課題解決を目指す。 プレゼンテーションをする際に話を聞く人が分かりやすいスライドの表現方法を身に着け表現する。	課題に取り込む力を養う。検索活動や周囲に相談したり質問したりして力を養う。

指導内容 【年間授業計画】	アプリケーションの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
4月	パスワード設定の方法について学ぶ	ID・パスワードを管理する必要性について学び、適切なパスワードを設定できるようになる。	知・技・思・判・表・態 課題提出	○	○	○	2
	文書処理ソフトウェアの操作方法を理解し操作できる。	定型文書について学び、文書作成ができるようになる。	知・技・思・判・表・態 課題提出	○	○	○	6
	文書処理ソフトウェアの操作方法を理解し操作できる。	文書処理ソフトウェアの基本操作を学び、装飾ができるようになる。	知・技・思・判・表・態 課題提出	○	○	○	6
5月							
表計算ソフトウェアの操作方法を理解し操作できる。	表計算ソフトウェアの基本操作（セルの装飾、セル同士の四則演算）ができる。	知・技・思・判・表・態 課題提出	○	○	○	6	

	指導内容 【年間授業計画】	アプリケーションの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	表計算ソフトウェアの操作方法を理解し操作できる。	表計算ソフトウェアの関数（合計、平均、最大値）の利用ができる。	知・技・思・判・表・ 態 課題提出	○	○	○	6

	指導内容 【年間授業計画】	アプリケーションの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	表計算ソフトウェアの操作方法を理解し操作できる。	条件分岐を理解し、場合に応じた処理の選択ができるようになる。	知・技・思・判・表・ 態 課題提出	○	○	○	6
	ドローンプログラム	ドローンを操作することができる。	知・技・思・判・表・ 態 課題提出	○	○	○	6

	指導内容 【年間授業計画】	アプリケーションの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月							
11月	ドローンプログラム	ドローンが決まったところを動くようにプログラムする。	知・技・思・判・表・ 態 課題提出	○	○	○	8

	指導内容 【年間授業計画】	アプリケーションの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	プレゼンテーションソフトウェア操作方法を学ぶ	プレゼンテーション資料を作るために1年間を振り返る。	知・技・思・判・表・ 態 課題提出	○	○	○	8
1 月	プレゼンテーションソフトウェア操作方法を学ぶ	プレゼンテーション資料の作り方を知り、まとめることができる。	知・技・思・判・表・ 態 課題提出	○	○	○	8
	プレゼンテーションソフトウェア操作方法を学ぶ	プレゼンテーション資料の作り方を知り、まとめることができる。	知・技・思・判・表・ 態 課題提出	○	○	○	8

指導内容 【年間授業計画】	アプリケーションの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月						
3月						

教科:(英語) 科目:(英語基礎) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(火曜日:松村 ㊟)(金曜日:松村 ㊟)

使用教科書:プレップイングリッシュ Reading やさしい英文の読みかた(旺文社)

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
文中の語句の意味を文脈から推測できる。段落構成や指示語の指す内容を理解できる。チャンク(意味のかたまり)で英文を読むことができる。設問に対して正確に答えられる。	英文の内容を踏まえて、自分の考えをまとめたり、文章の意図を読み取ったりすることができる。ALTとの活動で、英文内容をもとに簡単な意見交換ができる。自分自身のことや自分の周りで起こっている事について、簡単な言葉や文法を使って表現することができる。	授業中の活動に積極的に参加することができる。宿題・ワークシート・小テストに継続的に取り組むことができる。ALTとのコミュニケーションに前向きに参加することができる。

	指導内容 【年間授業計画】	英語基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	オリエンテーション 自己紹介	自分自身のことや身近なことを表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えていく。□ □ □ □ □	授業態度 活動と課題の取り組み 状況			○	2
	Q&A Prep English Reading Unit 1 What did your dog eat?	文中の出来事を時系列で整理できる。 主語・述語の関係を意識して英文を読める。 短い説明文の要点を把握できる。	活動と課題の取り組み 状況 Prep English Reading 小テスト	○	○	○	4
5月	Q&A Prep English Reading Unit 2 Teenagers today	段落ごとの主題を把握できる。 具体例と主張の関係を読み取れる。 自分の生活と比較して意見を述べられる。	活動と課題の取り組み 状況 Prep English Reading 小テスト	○	○	○	4
	まとめテスト	これまでの授業の振り返り	テスト結果	○	○		1
	Q&A Prep English Reading Unit 3 The latest fashion?	筆者の意見と事実を区別して読める。 意見文の構造(主張→理由→例)を理解できる。 自分の考えを簡単な英語で表現できる。	活動と課題の取り組み 状況 Prep English Reading 小テスト	○	○	○	6

	指導内容 【年間授業計画】	英語基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
	Q&A Prep English Reading Unit 4 Ig Nobel Prize	説明文の要点を抽出できる。 不明語を文脈から推測できる。 面白い研究内容について感想を述べられる。	活動と課題の取り組み 状況 Prep English Reading 小テスト	○	○	○	6
7月							
	まとめテスト	これまでの授業の振り返り	テスト結果	○	○		1

	指導内容 【年間授業計画】	英語基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	My summer vacation	夏休み中の思い出を表現するために、簡単な表現を用いて伝えることができる。	活動と課題の取り組み状況 プリント パフォーマンステスト	○	○	○	2
	Q&A Prep English Reading Unit 5 Droodle	文脈から原因・結果の関係を読み取れる。 登場人物の行動原理を説明できる。 ALTと内容について簡単なやり取りができる。	活動と課題の取り組み状況 Prep English Reading 小テスト	○	○	○	4
	Q&A Prep English Reading Unit 6 Droodle	図と英文を関連づけて理解できる 説明文の構造を把握できる 自分で簡単な説明を英語で作れる	活動と課題の取り組み状況 Prep English Reading 小テスト	○	○	○	6

	指導内容 【年間授業計画】	英語基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	まとめテスト	これまでの授業の振り返り	活動と課題の取り組み 状況 Prep English Reading 小テスト	○	○		1
	Q&A Prep English Reading Unit 7 British English and American English	英米の語彙の違いを理解できる 文化比較の視点で文章を読める 自分の経験と関連づけて意見を述べられる	活動と課題の取り組み 状況 プリント パフォーマンステスト	○	○	○	6
11月	Q&A Prep English Reading Unit 8 Thanksgiving Day and Black Friday	行事の背景知識を理解しながら読める 文章の要点をまとめられる 文化の違いについてALTと意見交換できる	活動と課題の取り組み 状況 Prep English Reading 小テスト	○	○	○	6
	National event	自分が訪れたい国の行事についてALTに話して伝えるために、必要な表現を用いて話すための準備ができる。	活動と課題の取り組み 状況	○	○	○	2
National event	自分が訪れたい国の行事について学習した表現を用いてALTに話して伝えている。	活動と課題の取り組み 状況	○	○	○	1	

	指導内容 【年間授業計画】	英語基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	まとめテスト	これまでの授業の振り返り	テスト結果	○	○		1
1 月	Q&A Prep English Reading Unit 9 Too kind?	文脈から語句の意味を推測できる 登場人物の心情を読み取れる 自分の考えを短い英文でまとめられる	活動と課題の取り組み 状況 Prep English Reading 小テスト	○	○	○	6
	Q&A Prep English Reading Unit 10 Emoji	文化による表現の違いを理解できる 筆者の意図を読み取れる 自分の文化経験と比較して説明できる	活動と課題の取り組み 状況 Prep English Reading 小テスト	○	○	○	6

指導内容 【年間授業計画】	英語基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月							
	インターネット上の記事の紹介	記事のタイトルやテーマを英語で説明できる。 記事の内容を英語で説明できる。 記事に対する自分の意見を伝えることができる。	活動と課題の取り組み状況	○	○	○	4
3月	まとめテスト	これまでの授業の振り返り		○	○		1

教科:(外国語(英語)) 科目:(論理・表現Ⅱ) 単位数:4単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組:㊟)(2組:㊟)(3組:㊟)(4組:㊟)(5組:鈴木 ㊟)(6組:㊟)

使用教科書:VISTA Logic and Expression Ⅱ(三省堂)

使用教材:VISTA Logic and Expression Ⅱ サブノート(三省堂)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な語彙、文法の定着	会話の大意の理解、話題に対応した会話力	苦手意識の克服や学習習慣の確立

指導内容 【年間授業計画】	論理・表現Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 オリエンテーション	英語の授業についてのオリエンテーション ①授業で使用する持ち物の確認 ②英語の単位取得と評価についての説明 ③授業中での諸注意	・授業態度 ・出席状況 ・提出物			○	2
Lesson 1	・人物を描写する表現を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物 ・発表テスト	○	○	○	5
文法2 1～3 1	・時制を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物	○	○	○	4
Unit 1	・「切手」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	・授業態度 ・出席状況 ・小テスト ・提出物	○	○	○	5
5月 Lesson 2	・希望・願望・提案する表現を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物 ・発表テスト	○	○	○	5
中間考査	Lesson 1、Lesson 2の定着度の確認 Unit 2の定着度の確認 文法2 1～3 1の定着度の確認	・授業態度 ・出席状況 ・提出物	○	○	○	1
Unit 2	・「サマープログラム」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	・授業態度 ・出席状況 ・小テスト ・提出物	○	○	○	5
文法3 2～4 2	・受動態、助動詞を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物	○	○	○	4
Lesson 3	・道案内する表現を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物 ・発表テスト	○	○	○	5

	指導内容 【年間授業計画】	論理・表現Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	Unit 3	・「清掃」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	・授業態度 ・出席状況 ・小テスト ・提出物	○	○	○	5
	Lesson 4	・具体的に説明する表現を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物 ・発表テスト	○	○	○	5
7月	期末考査	Lesson 3、Lesson 4 の定着度の確認 Unit 2、Unit 3 の定着度の確認 文法 3 2～4 2 の定着度の確認	・授業態度 ・出席状況 ・提出物	○	○	○	1
	1学期の復習	文法、語彙を中心に、1学期に学習した内容を復習する。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物	○	○	○	5

	指導内容 【年間授業計画】	論理・表現Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	Unit 4	・「昼寝」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	・授業態度 ・出席状況 ・小テスト ・提出物	○	○	○	5
	文法 4 3～5 4	・不定詞、動名詞を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物	○	○	○	4
	Lesson 5	・図表を説明する表現を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物 ・発表テスト	○	○	○	5
	Unit 5	・「秋入学」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	・授業態度 ・出席状況 ・小テスト ・提出物	○	○	○	5
	Lesson 6	・具体的に説明する表現を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物 ・発表テスト	○	○	○	5

指導内容 【年間授業計画】	論理・表現Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	中間考査	Lesson 5、Lesson 6 の定着度の確認 Unit 4、Unit 5 の定着度の確認 文法 4 3～5 4 の定着度の確認	・授業態度 ・出席状況 ・小テスト ・提出物	○	○	○	1
11月	Unit 6	・「木星」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	・授業態度 ・出席状況 ・小テスト ・提出物	○	○	○	5
	Lesson 7	・数量を説明する表現を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物 ・発表テスト	○	○	○	5
	文法 5 5～5 9、 6 6～7 2	・分詞、名詞、冠詞を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物	○	○	○	4
	Lesson 8	・募集を広告する表現を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物 ・発表テスト	○	○	○	5
	Unit 7	・「人物」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	・授業態度 ・出席状況 ・小テスト ・提出物	○	○	○	5

指導内容 【年間授業計画】	論理・表現Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	期末考査	Lesson 7、Lesson 8 の定着度の確認 Unit 6、Unit 7 の定着度の確認 文法 5 5～5 9、6 6～7 2 の定着度の確認	○	○	○	1
	2学期の復習	文法、語彙を中心に、2学期に学習した内容を復習する。	○	○	○	5
1 月	Unit 8	・「色の効果」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	○	○	○	5
	Lesson 9	・プレゼンテーションする表現を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	○	○	○	5
	文法 7 3～8 1	・代名詞を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	○	○	○	4
	Unit 9	・「手紙」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	○	○	○	5

指導内容 【年間授業計画】	論理・表現Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月	Lesson 10	・社会問題と解決策についての表現を理解し、それを活用して英語で表現することができる。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物 ・発表テスト	○	○	○	5
3月	期末考査	Lesson 9、Lesson 10の定着度の確認 Unit 8、Unit 9の定着度の確認 文法 55～59、66～72の定着度の確認	・授業態度 ・出席状況 ・提出物	○	○	○	1
	3学期の復習	文法、語彙を中心に、3学期に学習した内容を復習する。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物	○	○	○	5
	1年間のまとめ	文法、語彙を中心に、1年間に学習した内容を復習する。	・授業態度 ・出席状況 ・提出物	○	○	○	3

教科:(外国語) 科目:(英語コミュニケーションⅡ) 単位数:4単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組:鈴木・殿山・村田 ㊞)(2組:鈴木・殿山・村田 ㊞)(3組:鈴木・スミス・村田 ㊞)(4組:鈴木・スミス・村田 ㊞)(5組:殿山・村田 ㊞)(6組: ㊞)

使用教科書:All Aboard! English Communication II (東書)

使用教材:All Aboard! English Communication II WORKBOOK(東書)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーションⅡの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 オリエンテーション	英語の授業についてのオリエンテーション ①授業で使用する持ち物の確認 ②英語の単位取得と評価についての説明 ③授業中での諸注意	・授業態度 ・活動と課題の取組状況			○	2
Lesson 1	・関係代名詞を理解し、それを活用して英語で表現することができる。 ・「ブラーノ島」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12
Lesson 2	・比較表現を理解し、それを活用して英語で表現することができる。 ・「ビートルズ」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12
中間考査	Lesson 1、Lesson 2 の定着度の確認	・考査得点 ・提出物	○	○	○	1
5月						
Lesson 3	・ITの用法を理解し、それを活用して英語で表現することができる。 ・「ワイルドマン」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12
Lesson 4	・関節疑問文の用法を理解し、それを活用して英語で表現することができる。 ・「ハチドリ」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12

	指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーションⅡの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	期末考査	Lesson 3、Lesson 4の定着度の確認	・考査得点 ・提出物	○	○	○	1
	1学期の復習	文法、語彙を中心に、1学期に学習した内容を復習する。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーションⅡの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> ・To不定詞を理解し、それを活用して英語で表現することができる。 ・「歌舞伎」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト 	○	○	○	12
	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> ・IF節を理解し、それを活用して英語で表現することができる。 ・「伝統野菜」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト 	○	○	○	12
	中間考査	Lesson 5～6の定着度の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト 	○	○	○	1

指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーションⅡの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> 関係副詞を理解し、それを活用して英語で表現することができる。 「アート」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。 	○	○		12
11月	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> 知覚動詞を理解し、それを活用して英語で表現することができる。 「自然のデザイン」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。 	○	○	○	12

指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーションⅡの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	期末考査	Lesson 7～8の定着度の確認	・考査得点 ・提出物	○	○	○	1
	2学期の復習	文法、語彙を中心に、2学期に学習した内容を復習する。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	4
1 月	Lesson 9	・使役動詞を理解し、それを活用して英語で表現することができる。 ・「チョコレートの生産」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12
	Lesson 10	・分詞構文を理解し、それを活用して英語で表現することができる。 ・「ナイチンゲール」について書かれた文の内容を理解し、その背景にある海外事情を知る。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○		12

教科:(家庭) 科目:(家庭総合) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組:柴田・若菜 ㊟)(2組:柴田・柿沼 ㊟)(3組:柴田・柿沼 ㊟)(4組:柴田・柿沼 ㊟)(5組:柴田・柿沼 ㊟)(6組:柴田・柿沼 ㊟)

使用教科書:家庭総合(第一学習社)

使用教材:持続可能な未来をつくる

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付ける。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出し課題を設定し、解決策を構想、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けさせる。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活を充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けさせる。

	指導内容 【年間授業計画】	家庭総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	オリエンテーション	家庭総合で学習する内容を知る 授業の約束 評価のつけ方	思・判・表・態 プリント	○	○	○	1
	A:「これからの生き方と家族」	「生涯発達する自分」 これまでの自分を振り返って、これからの自分	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	B:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「基礎縫い」製作 ①玉止め・玉結び・並縫い	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査 作品	○	○	○	2
5月	A:「これからの生き方と家族」	「青年期を生きる」 これからの自分をつくる	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	A1:「これからの生き方と家族」	「共に生きる家族」 家族とはなにか、概念や時代背景などから学び、理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	A2:「これからの生き方と家族」	「家族・家庭の働き」・「パートナーと出会う」 家族とはなにか、概念や時代背景などから学び、理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	B:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「基礎縫い」製作 ②並縫い	知・技・思・判・表・態 プリント 作品	○	○	○	2
	A1:「+B24:E33これ+B24:R33からの生き方と家族」	「家族に関する法律」 現在施行されている法律を学び、知識を広げる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
A2:「これからの生き方と家族」	「労働と生活時間」 ワークライフバランスの取り方について学ぶ。生活を豊かにするためにはどんな工夫があるか知る	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1	

	指導内容 【年間授業計画】	家庭総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	#NAME?	「キャリアの形成」 人生80年を生きる 自分らしく生きることと、共に生きること	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	B1:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「基礎縫い」製作 ③半返し縫い・本返し縫い	知・技・思・判・表・ 態 プリント 作品	○	○	○	2
	B2:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「基礎縫い」製作 ④まつり縫い・かがり縫い	知・技・思・判・表・ 態 プリント 作品	○	○	○	2
7月	AB: 期末考査	定期考査	知・技・思・判・表・ 態 プリント	○	○	○	1
	A:「これからの生き方と 家族」	定期テストの解説	知・技・思・判・表・ 態 プリント	○	○	○	1
	B:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「刺し子花布巾」製作 1回目 ①横途切れ線4本	知・技・思・判・表・ 態 プリント 作品	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	家庭総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	A1:「衣生活をみつめる」	「人と被服」	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	A2:「衣生活をみつめる」	「衣生活の成り立ち」	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	A3:「衣生活をみつめる」	「現代の衣生活」	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	B1:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「刺し子花布巾」製作 2回目 ①横途切れ線5本	知・技・思・判・表・ 態 プリント 作品	○	○	○	2
	B2:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「刺し子花布巾」製作 3回目 ②縦線4本	知・技・思・判・表・ 態 プリント 作品	○	○	○	2
	A1:「健康で個性的な衣生活のために」	「衣生活の計画」・「被服の材料」	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	家庭総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	A2:「健康で個性的な衣生活のために」	「気持ちよく着る工夫」・「安全に着る」	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	B1:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「刺し子花布巾」製作 4回目 ③斜め線4本	知・技・思・判・表・態 プリント 作品	○	○	○	2
	B2:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「刺し子花布巾」製作 5回目 ③斜め線5本	知・技・思・判・表・態 プリント 作品	○	○	○	2
	B3:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「刺し子花布巾」製作 6回目 ③斜め線5本	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
11月	A1:「健康で個性的な衣生活のために」	「自分らしさの表現」・「着心地のよい被服」	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	B1:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「刺し子花布巾」製作 7回目 ④ジグザク線5本	知・技・思・判・表・態 プリント 作品	○	○	○	2
	B2:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「刺し子花布巾」製作 8回目 ④ジグザク線5本	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	B3:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「刺し子花布巾」製作 9回目 ④ジグザク線5本	知・技・思・判・表・態 プリント 作品	○	○	○	2
	B4:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「刺し子花布巾」製作 10回目 ④ジグザク線5本	知・技・思・判・表・態 プリント 作品	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	家庭総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	AB: 期末考査	定期考査	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	A: 「衣生活を設計し実践しよう」	定期テストの解説	知・技・思・判・表・ 態 プリント	○	○	○	2
	B1: 被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「刺し子花布巾」製作 11回目完成 ⑤囲い線線4本	知・技・思・判・表・ 態 プリント 作品	○	○	○	2
	B2: 被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「ミシン基礎縫い」製作	知・技・思・判・表・ 態 プリント 作品	○	○	○	2
1 月	A1: 「消費者問題を考える」	「消費者問題はなぜ起こるのか」	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	A2: 「消費者問題を考える」	「多様化する支払方法とリスク防止」 契約やそのトラブル、多様化する販売方法などを学び、消費者として失敗のないよう学習する。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	A3: 「消費者問題を考える」	「消費者の自立と行政の支援」	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	B1: 被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「ティッシュボックス」製作 1回目	知・技・思・判・表・ 態 プリント 作品	○	○	○	2
	B2: 被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「ティッシュボックス」製作 2回目	知・技・思・判・表・ 態 プリント 作品	○	○	○	2
A1: 「持続可能な社会を目指して」	「持続可能な社会環境」 私達の生活と資源や環境を結び付け、地球環境問題について関心をもつ。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1	

指導内容 【年間授業計画】	家庭総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月	A2:「持続可能な社会を目指して」	「消費者市民社会を目指して」	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	B1:被服実習	裁縫道具の基本的な扱い方と技術を学ぶ 実習「ティッシュボックス」製作 3回目完成	知・技・思・判・表・態 プリント	○	○	○	2
3月	AB:期末考査	定期考査	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	A:消費問題・持続可能な社会	定期テストの解説	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1

教科:(芸術) 科目:(音楽Ⅱ) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組:吉田 拓真 ㊟)(2組:吉田 拓真 ㊟)(3組:吉田 拓真 ㊟)(4組:吉田 拓真 ㊟)(5組:㊟)(6組:㊟)

使用教科書:MOUSA2

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

指導内容 【年間授業計画】	音楽Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 オリエンテーション	授業の進め方 評価方法 注意事項	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
5月 歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1

	指導内容 【年間授業計画】	音楽Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
7月	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1

	指導内容 【年間授業計画】	音楽Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1	

	指導内容 【年間授業計画】	音楽Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
11月	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2

	指導内容 【年間授業計画】	音楽Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
1 月							
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1

	指導内容 【年間授業計画】	音楽Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
3月	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、教科書掲載の歌曲、合唱曲、パソコンをつかった創作、キーボードを使ったコード奏、音楽の仕組みを取り扱った鑑賞、我が国の音楽を取り扱った鑑賞、民族音楽の鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1

教科:(保健体育) 科目:(球技A(男子)) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組:金子 ㊟)(2組:㊟)(3組:㊟)(4組:㊟)(5組:㊟)(6組:㊟)

使用教科書:最新保健体育(大修館)

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付けるようにする。	互いの違いやよさを言語や文章などで表現し、根拠を持って相手に伝える力を身に付ける。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する自己の責任を果たし、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

指導内容 【年間授業計画】	球技A(男子)の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 ガイダンス	一年間の流れ、授業でのルール確認	実技テスト	○	○	○	2
5月 球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	2
	中種目 バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	4
球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	4
	中種目 バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	球技A（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	4
	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	球技A（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	4
	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	4
	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	球技A（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	4
11月	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	4
	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	球技A（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	4
	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	4
1 月	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	4
	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	2
	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	球技A（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	2
3月	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	2
	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	2

教科:(保健体育) 科目:(球技A(女子)) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:

使用教科書:最新保健体育(大修館)

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付けるようにする。	互いの違いやよさを言語や文章などで表現し、根拠を持って相手に伝える力を身に付ける。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する自己の責任を果たし、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

指導内容 【年間授業計画】	球技A(女子)の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 ガイダンス	一年間の流れ、授業でのルール確認	実技テスト	○	○	○	2
5月 球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	2
	中種目 バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	4
球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	4
	中種目 バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	球技A（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	4
	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	球技A（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	4
	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	4
	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	球技A（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	4
11月	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	4
	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	球技A（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	4
	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	4
1 月	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	4
	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	2
	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	球技A（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	2
3月	球技 外種目	ソフトボール サッカー	実技テスト	○	○	○	2
	中種目	バスケットボール バレーボール バドミントン	実技テスト	○	○	○	2

教科:(保健体育) 科目:(保健) 単位数:1単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組:菱輪 ㊟)(2組:菱輪 ㊟)(3組:金澤 ㊟)(4組:金澤 ㊟)(5組:菱輪 ㊟)(6組: ㊟)

使用教科書:最新保健体育(大修館)

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	オリエンテーション 応急手当の意義	保健の授業の進め方を学ぶ 応急手当の意義について考えさせる	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	応急手当の意義とその基本	適切な応急手当の意義を説明できる 傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントをあげることができる	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	日常的な応急手当	日常的な応急手当の手順や方法を説明できる 熱中症の応急手当の手順や方法を説明できる	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
5月	日常的な応急手当	日常的な応急手当の手順や方法を説明できる 熱中症の応急手当の手順や方法を説明できる	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	心肺蘇生法の原理とおこない方	胸骨圧拍、人工呼吸、AEDによる除細動の原理を説明できる 心肺蘇生法の各手順のポイントをあげることができる	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	思春期と健康	思春期における体の変化について学ぶ 思春期の心の発達にかかわる健康課題を学ぶ	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	性への関心・欲求と性行動	性意識の男女の差を学ぶ 性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことを学ぶ	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1

	指導内容 【年間授業計画】	保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	期末考査			○	○	○	1
	妊娠・出産と健康	妊娠・出産の過程に於ける健康課題について説明できる。 妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることが出来る。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1

	指導内容 【年間授業計画】	保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	妊娠・出産と健康	妊娠・出産の過程に於ける健康課題について説明できる。 妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることが出来る。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	避妊法と人工妊娠中絶	家族計画の意義と適切な避妊法について学ぶ	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	避妊法と人工妊娠中絶	人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について学ぶ。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	結婚生活と健康	心身の発達と結婚生活の関係について学ぶ。 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を学ぶ。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2
11月	中高年期と健康	年をとるに伴う心身の変化を学ぶ 中高年期を健やかに過ごすための社会的な取り組みを学ぶ	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2
	医療品とその活用	医療品の正しい使用法について説明できる 医薬品の安全性を守る仕組みについて例をあげて説明できる	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2
	医療サービスとその活用	さまざまな医療機関の役割について学ぶ 医療サービスを受けるときの留意点を学ぶ	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	保健サービスとその活用	保健行政の役割について例をあげて説明できる 保健サービスの活用の例をあげることができる	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2
	学期末考査			○	○	○	1
1 月	大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康	大気汚染の原因とその健康影響を学ぶ 水質汚染の原因とその健康影響を学ぶ 土壌汚染の原因とその健康影響を学ぶ	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	環境汚染を防ぐ取り組み②	ごみの処理の現状とその課題について学ぶ 安全で質のよい水を確保するためのしくみと課題を学ぶ	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	ごみの処理と上下水道の整備	ごみの処理の現状とその課題について学ぶ 安全で質のよい水を確保するためのしくみと課題を学ぶ	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2
	食品の安全を守る活動①	行政や生産・製造者による食品の安全のための対策を学ぶ	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月	食品の安全を守る活動②	食品の安全のため、私たち消費者がおこなうべきことを学ぶ	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2
	働くことと健康	働く人の健康問題がどのように変化してきたのか学ぶ 労働災害の防ぎ方を学ぶ	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
3月	働くことと健康づくり	職場がおこなう健康増進法について学ぶ 余暇の大切さと活用の仕方について学ぶ	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	学年末考査			○	○	○	1

教科:(保健体育) 科目:(体育(男子)) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組:金子、金澤、
 本島、蒼輪(印))(2組:金子、金澤)

使用教科書:最新保健体育(大修館)

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付けるようにする。	互いの違いやよさを言葉や文章などで表現し、根拠を持って相手に伝える力を身に付ける。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する自己の責任を果たし、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

指導内容 【年間授業計画】	体育(男子)の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 オリエンテーション 体育理論 体力テスト	体育の授業を受けるにあたって、注意することと本年度の目標について理解する。スポーツテスト種目(49m走、ハンドボール投げ、持久走)を正しくきちんと計測することができる。	・授業に臨む意欲、態度 ・スタートダッシュができているか ・最後まで頑張って走ったか	○	○	○	4
			○	○	○	
5月 陸上競技	短距離走(50m走、100m走、50mH走)	・授業に臨む意欲、態度 ・スタートダッシュができているか ・最後まで頑張って走ったか	○	○	○	3
陸上競技	短距離走(50m走、100m走、50mH走)	・授業に臨む意欲、態度 ・スタートダッシュができているか ・最後まで頑張って走ったか	○	○	○	4
水泳	水慣れ バタ足、ビート版を使用した泳ぎができる。 面かぶりクロールの形がとれる。	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	体育（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	陸上競技	短距離走（50m走、100m走、50mH走）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む意欲、態度 ・スタートダッシュができているか ・最後まで頑張って走ったか 	○	○	○	4
	水泳	水慣れ バタ足、ビート版を使用したの泳ぎができる。 面かぶりクロールの形がとれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力 	○	○	○	4
			<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む意欲、態度 ・水を怖がらずに入水できるか ・安全への配慮 ・クロールの泳法を理解しているか 				

	指導内容 【年間授業計画】	体育（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	水泳	水慣れ バタ足、ビート版を使用しての泳ぎができる。 面かぶりクロールの形がとれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む意欲、態度 ・水を怖がらずに入水できるか ・安全への配慮 ・クロールの泳法を理解しているか 	○	○	○	4
	陸上	短距離走（50m走、100m走、50mH走）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む意欲、態度 ・ルールの理解 ・キックの技術 ・安全への配慮 	○	○	○	4
	ソフトボール	キャッチボール 捕球動作→送球動作 Tバッティング トスバッティング ノック シートノック	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力 	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	体育（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	バレーボール	各種バスの名前と使い方を覚える。 3段攻撃ができるようになる。 サーブ・スパイクを打てるようになる。	・授業に臨む意欲、態度 ・ルールの理解 ・キックの技術 ・安全への配慮	○	○	○	4
11月	ソフトボール	キャッチボール 捕球動作→送球動作 Tバッティング トスバッティング ノック シートノック	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	4
	バレーボール	各種バスの名前と使い方を覚える。 3段攻撃ができるようになる。 サーブ・スパイクを打てるようになる。	・授業に臨む意欲、態度 ・ストローク技術 ・安全への配慮 ・ゲームでのポジショニング	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	体育（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	ソフトボール	キャッチボール 捕球動作→送球動作 Tバッティング トスバッティング ノック、シートノック 試合のルールを覚えて、試合ができるようになる。	・ボディバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	4
	バレーボール	各種バスの名前と使い方を覚える。 3段攻撃ができるようになる。 サーブ・スパイクを打てるようになる。 試合のルールを覚えて、試合ができるようになる。	・授業に臨む意欲、態度 ・ストローク技術 ・安全への配慮 ・ゲームでのポジショニング	○	○	○	3
1 月	陸上（長距離走）	各自の能力に応じて長距離を速く走れるようになる。 心肺機能を向上させるとともに、走る距離を伸ばしていく。	・授業に臨む意欲、態度 ・安全への配慮 ・持久走の記録	○	○	○	3
	陸上（長距離走）	各自の能力に応じて長距離を速く走れるようになる。 心肺機能を向上させるとともに、走る距離を伸ばしていく。	・授業に臨む意欲、態度 ・安全への配慮 ・持久走の記録	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	体育（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月		・ ボディーバランス ・ 身体の巧緻性 ・ 安全への理解 ・ 積極性と協力 ・ 練習の企画力				3	
3月	陸上（長距離走）	各自の能力に応じて長距離を速く走れるようになる。 心肺機能を向上させるとともに、走る距離を伸ばしていく。	・ 授業に臨む意欲、態度 ・ 安全への配慮 ・ 持久走の記録	○	○	○	3
			・ ボディーバランス ・ 身体の巧緻性 ・ 安全への理解 ・ 積極性と協力 ・ 練習の企画力				3

教科:(保健体育) 科目:(体育(女子)) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組:金子、金澤、
 本島、蒼輪(印))(2組:命子、金澤)

使用教科書:最新保健体育(大修館)

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付けるようにする。	互いの違いやよさを言葉や文章などで表現し、根拠を持って相手に伝える力を身に付ける。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する自己の責任を果たし、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

指導内容 【年間授業計画】	体育(女子)の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 オリエンテーション 体育理論 体力テスト	体育の授業を受けるにあたって、注意することと本年度の目標について理解する。スポーツテスト種目(49m走、ハンドボール投げ、持久走)を正しくきちんと計測することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む意欲、態度 ・スタートダッシュができているか ・最後まで頑張って走ったか 	○	○	○	4
			○	○	○	
5月 陸上競技	短距離走(50m走、100m走、50mH走)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む意欲、態度 ・スタートダッシュができているか ・最後まで頑張って走ったか 	○	○	○	3
陸上競技	短距離走(50m走、100m走、50mH走)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む意欲、態度 ・スタートダッシュができているか ・最後まで頑張って走ったか 	○	○	○	4
水泳	水慣れ バタ足、ビート版を使用したの泳ぎができる。 面かぶりクロールの形がとれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力 	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	体育（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	陸上競技	短距離走（50m走、100m走、50mH走）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む意欲、態度 ・スタートダッシュができているか ・最後まで頑張って走ったか 	○	○	○	4
	水泳	水慣れ バタ足、ビート版を使用したの泳ぎができる。 面かぶりクロールの形がとれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力 	○	○	○	4
			<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む意欲、態度 ・水を怖がらずに入水できるか ・安全への配慮 ・クロールの泳法を理解しているか 				

	指導内容 【年間授業計画】	体育（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	水泳	水慣れ バタ足、ビート版を使用しての泳ぎができる。 面かぶりクロールの形がとれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む意欲、態度 ・水を怖がらずに入水できるか ・安全への配慮 ・クロールの泳法を理解しているか 	○	○	○	4
	陸上	短距離走（50m走、100m走、50mH走）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む意欲、態度 ・ルールの理解 ・キックの技術 ・安全への配慮 	○	○	○	4
	ソフトボール	キャッチボール 捕球動作→送球動作 Tバッティング トスバッティング ノック シートノック	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力 	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	体育（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	バレーボール	各種バスの名前と使い方を覚える。 3段攻撃ができるようになる。 サーブ・スパイクを打てるようになる。	・授業に臨む意欲、態度 ・ルールの理解 ・キックの技術 ・安全への配慮	○	○	○	4
11月	ソフトボール	キャッチボール 捕球動作→送球動作 Tバッティング トスバッティング ノック シートノック	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	4
	バレーボール	各種バスの名前と使い方を覚える。 3段攻撃ができるようになる。 サーブ・スパイクを打てるようになる。	・授業に臨む意欲、態度 ・ストローク技術 ・安全への配慮 ・ゲームでのポジショニング	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	体育（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	ソフトボール	キャッチボール 捕球動作→送球動作 Tバッティング トスバッティング ノック、シートノック 試合のルールを覚えて、試合ができるようになる。	・ボディバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	4
	バレーボール	各種バスの名前と使い方を覚える。 3段攻撃ができるようになる。 サーブ・スパイクを打てるようになる。 試合のルールを覚えて、試合ができるようになる。	・授業に臨む意欲、態度 ・ストローク技術 ・安全への配慮 ・ゲームでのポジショニング	○	○	○	3
1 月	陸上（長距離走）	各自の能力に応じて長距離を速く走れるようになる。 心肺機能を向上させるとともに、走る距離を伸ばしていく。	・授業に臨む意欲、態度 ・安全への配慮 ・持久走の記録	○	○	○	3
	陸上（長距離走）	各自の能力に応じて長距離を速く走れるようになる。 心肺機能を向上させるとともに、走る距離を伸ばしていく。	・授業に臨む意欲、態度 ・安全への配慮 ・持久走の記録	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	体育（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月		・ ボディーバランス ・ 身体の巧緻性 ・ 安全への理解 ・ 積極性と協力 ・ 練習の企画力				3	
3月	陸上（長距離走）	各自の能力に応じて長距離を速く走れるようになる。 心肺機能を向上させるとともに、走る距離を伸ばしていく。	・ 授業に臨む意欲、態度 ・ 安全への配慮 ・ 持久走の記録	○	○	○	3
			・ ボディーバランス ・ 身体の巧緻性 ・ 安全への理解 ・ 積極性と協力 ・ 練習の企画力				3

教科:(理科) 科目:(化学基礎) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組:菅野 ㊟)(2組:菅野 ㊟)(3組:菅野 ㊟)(4組:菅野 ㊟)(5組:菅野 ㊟)(6組:㊟)

使用教科書:第一学習社

使用教材:高等学校 改訂 化学基礎

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 専門用語の定義やそれらを用いた理論を正しく理解し、説明することができる。 様々な化学式を正しく用いることができる。 実験の目的を正しく理解し、目的に沿って操作することができる。 授業プリントおよびワークを用いて、化学基礎に必要な基礎的な知識を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学んだ基礎的な知識を用いて、物質の変化に見通しをもって考えることができる。 目的に応じて実験を行い、得られた結果から考察することができる。 目的に応じて実験を行い、得られた結果から考察することができる。 目的に応じて実験を行い、得られた結果から考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律を守り、日々の学習に臨む姿勢を維持することができる。 授業プリント、実験プリント、小テスト、宿題などの提出物を提出することができる。

	指導内容 【年間授業計画】	化学基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成元素	オリエンテーション 【物質の成分】 ・混合物と純物質	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		1
	第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成元素	【物質の成分】 ・混合物の分離、精製	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○		○	1
5月	第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成元素	【物質の構成元素】 ・元素 ・化合物と単体	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			1
	第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成元素	【物質の構成元素】 ・同素体 ・元素の確認	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○		○	1
	第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成元素	【状態変化と熱運動】 ・拡散と熱運動 ・物質の三態	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		1
	第1章 物質の構成 第2節 原子の構造と元素の周期表	【原子の構造】 ・原子の存在 ・原子の構成	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			2
	第1章 物質の構成 第2節 原子の構造と元素の周期表	【原子の構造】 ・電子配置、価電子 ・同位体、放射性同位体	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		2
	第1章 物質の構成 第2節 原子の構造と元素の周期表	【元素の相互関係】 ・元素の周期律 ・元素の周期表	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			2
	第1章 物質の構成 第2節 原子の構造と元素の周期表	【イオン】 ・イオンの生成と表し方 ・イオンの生成とエネルギー	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○	○		2

	指導内容 【年間授業計画】	化学基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	第1章 物質の構成 第3節 物質と化学結合	【イオン結合】 ・イオン結合と組成式	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			2
	第1章 物質の構成 第3節 物質と化学結合	【イオン結合】 ・イオン結晶とその性質 ・イオン結晶とその利用	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			2
	第1章 物質の構成 第3節 物質と化学結合	【共有結合】 ・共有結合の形成 ・電子式 ・構造式	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○	○		2
7月	第1章 物質の構成 第3節 物質と化学結合	【共有結合】 ・分子の形と分類 ・配位結合と錯イオン ・分子結晶とその性質 ・分子間力 ・分子からなる物質の利用 ・共有結合の結晶とその利用	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○		○	2
	第1章 物質の構成 第3節 物質と化学結合	【金属結合】 【結晶の比較】 【結晶と単位格子】 ・金属結合、金属の性質と利用、合金 ・結晶格子と単位格子 ・金属結晶、イオン結晶について	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			2

	指導内容 【年間授業計画】	化学基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式	【原子量・分子と式量】 ・原子の質量と相対質量 ・元素の原子量 ・分子量 ・式量	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			2
	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式	【物質量】 ・物質量とアボガドロ定数	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○	○		2
	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式	【物質量】 ・物質量と質量の関係	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		2
	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式	【物質量】 ・物質量と気体の体積の関係	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		2
	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式	【溶解と濃度】 ・溶解と溶液 ・濃度	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○	○	○	2
	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式	【化学変化と化学反応式】 ・化学反応式 ・イオン反応式	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○	○		2

指導内容 【年間授業計画】	化学基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式	【化学反応の量的関係】 ・炭酸水素ナトリウムの熱分解の量的関係 ・化学反応式の係数と反応の量的関係	授業プリント 発問に対する解答および授業態度			○	2
	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式	・化学変化における諸法則 ・学習のまとめ	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		2
	第2章 物質の変化 第2節 酸・塩基とその反応	【酸と塩基】 ・酸 ・塩基 ・酸、塩基とH ⁺ の授受 ・酸、塩基の価数 ・酸と塩基の強弱	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○		○	2
	第2章 物質の変化 第2節 酸・塩基とその反応	【水素イオン濃度】 ・水の電離と水素イオン濃度 ・水素イオン濃度とpH ・指示薬とpHの測定	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○		○	2
11月	第2章 物質の変化 第2節 酸・塩基とその反応	【中和と塩】 ・中和 ・塩とその種類 ・塩の反応	授業プリント 発問に対する解答および授業態度			○	2
	第2章 物質の変化 第2節 酸・塩基とその反応	【中和滴定】 ・中和における量的関係 ・中和滴定	授業プリント 発問に対する解答および授業態度			○	2
	第2章 物質の変化 第2節 酸・塩基とその反応	【中和滴定】 ・中和滴定曲線 ・逆滴定	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○	○		1
	第2章 物質の変化 第2節 酸・塩基とその反応	学習のまとめ	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○		○	1
	第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応	【酸化と還元】 ・酸素、水素の授受と酸化、還元 ・電子の授受と酸化、還元	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			2

指導内容 【年間授業計画】	化学基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応	【酸化と還元】 ・原子の酸化数 ・酸化数の増減と酸化と還元	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○	○		2
	第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応	【酸化剤と還元剤の反応】 ・酸化剤と還元剤 ・酸化剤、還元剤の反応式	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○	○	2
	第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応	【酸化剤と還元剤の反応】 ・酸化還元反応の化学反応式	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○	○		1
	第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応	【酸化剤と還元剤の反応】 ・酸化剤にも還元剤にもなる物質の反応 ・酸化剤、還元剤の強さの比較 【酸化還元の量的関係】	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○	○		1
	第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応	【金属のイオン化傾向】 ・金属のイオン化傾向 ・金属の反応性	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○	○	○	2
1 月	第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応	【電池】 ・電池の原理 ・ダニエル電池 ・身近な電池 ・マンガン電池、鉛蓄電池、燃料電池	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○	○	○	2
	第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応	【金属の精錬】 ・精錬 ・鉄の精錬 ・銅の精錬 ・熔融塩電解	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			2
	第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応	学習のまとめ	授業プリント 発問に対する解答および授業態度			○	1
	終章 化学が拓く世界	・探究活動	授業プリント 発問に対する解答および授業態度			○	1
	終章 化学が拓く世界	探求活動	授業プリント 発問に対する解答および授業態度			○	1
終章 化学が拓く世界	探求活動	授業プリント 発問に対する解答および授業態度			○	1	

	指導内容 【年間授業計画】	化学基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	終章 化学が拓く世界	探求活動				○	
	全章	・学習のまとめ				○	
3月	全章	学習のまとめ	授業プリント 発問に対する解答および授業態度			○	1
	全章	学習のまとめ	授業プリント 発問に対する解答および授業態度			○	1
	全章	学習のまとめ	授業プリント 発問に対する解答および授業態度			○	1

教科:(理科) 科目:(物理基礎) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組:佐藤(淳) ㊟)(2組:佐藤(淳) ㊟)(3組:佐藤(淳) ㊟)(4組:佐藤(淳) ㊟)(5組:佐藤(淳) ㊟)(6組: ㊟)

使用教科書:改訂新物理基礎

使用教材:改訂ネオパルノート物理基礎

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
①数式の定義や正負の意味を正しく理解している。 ②式やグラフを正しく運用することができる。 ③実験器具の基本的な扱い方が身に付いている。	①実験で得られた結果から、関係性や法則性を見いだして表現することができる。 ②対話を通して、自分の考えを修正し表現することができる。	①課題や実験に主体的に取り組んでいる。 ②対話等を通して、自分の考えを修正しようとしている。

	指導内容 【年間授業計画】	物理基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	1 物体の運動とエネルギー 1章 運動の表し方	<ul style="list-style-type: none"> 長さや時間の数値の換算を復習する。 速さの単位について知る。 m/s と km/h の変換を行えるようにする。 	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	2
	1 物体の運動とエネルギー 1章 運動の表し方	<ul style="list-style-type: none"> 速さと速度、変位と移動距離の違いを知る。 	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
	1 物体の運動とエネルギー 1章 運動の表し方	<ul style="list-style-type: none"> 等速直線運動の特徴を知る。 位置と時刻のグラフ、速度と時刻のグラフの特徴を知る。 	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
5月	1 物体の運動とエネルギー 1章 運動の表し方	<ul style="list-style-type: none"> 加速度とは何かを知る。 等加速度直線運動の種々の公式を導出する。 	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
	中間考査	中間考査	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○		1
	1 物体の運動とエネルギー 1章 運動の表し方	<ul style="list-style-type: none"> 水平投射、斜方投射について定性的に理解する。 	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
	1 物体の運動とエネルギー 1章 運動の表し方	<ul style="list-style-type: none"> ガリレイの伝説を手がかりに、落体の運動を理解する。 	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	物理基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	1 物体の運動とエネルギー 2章 様々な力とその働き	・重力などに代表される遠隔力と接触の力の違いを知る。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
	1 物体の運動とエネルギー 1章 運動の表し方	・水平投射、斜方投射について定性的に理解する。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
7月	期末考査	期末考査	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○		1

	指導内容 【年間授業計画】	物理基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	1 物体の運動とエネルギー 2章 様々な力とその働き	・力の働きと、力の表し方を理解させる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
	1 物体の運動とエネルギー 2章 様々な力とその働き	③ 運動の3法則について知る。 ・慣性の法則 ・運動方程式 ・作用反作用の法則	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
	1 物体の運動とエネルギー 2章 様々な力とその働き	・運動方程式	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3

指導内容 【年間授業計画】	物理基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	1 物体の運動とエネルギー 2章 様々な力とその働き	<ul style="list-style-type: none"> ・運動方程式の応用問題を解く。 ・摩擦力の取り扱い ・斜面問題 ・動滑車や動く斜面台による拘束運動 	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
	中間考査	中間考査	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○		1
11月	2 様々な物理現象とエネルギーの利用 イ 波	<ul style="list-style-type: none"> ・波の基本的性質について理解する。 ・$y-t$ グラフと$y-x$ グラフの違いを理解する。 	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
	2 様々な物理現象とエネルギーの利用 イ 波	<ul style="list-style-type: none"> ・縦波の横波表示について理解する。 	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
	2 様々な物理現象とエネルギーの利用 イ 波	<ul style="list-style-type: none"> ・反射波の作図を行うことができる。 	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	物理基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2月	2 様々な物理現象とエネルギーの利用 イ 波	・定常波について理解する。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
	期末考査	期末考査		○	○		1
	2 様々な物理現象とエネルギーの利用 ウ 電気	・帯電の仕組みを理解する。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
1 月							
	2 様々な物理現象とエネルギーの利用 ウ 電気	・オームの法則を利用して簡単な電気回路の問題を解くことができる。 ・電力と電力量について理解し、求められるようにする。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
	2 様々な物理現象とエネルギーの利用 ウ 電気	・電力と電力量について理解し、求められるようにする。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
	2 様々な物理現象とエネルギーの利用 ウ 電気	・磁力と電流の関係について理解し、モーターや発電機の仕組みについて理解する。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3

指導内容 【年間授業計画】	物理基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月	2 様々な物理現象とエネルギーの利用	・まとめの時間を入れ、これまでの内容を整理させる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3
3月	期末考査	期末考査	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○		1
	まとめ	・年間の授業のまとめとして、習得事項に関する動画を観覧し、教養を深める。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	3

教科:(数学) 科目:(数学総合β) 単位数:2単位 対象:(第2学年)
 教科担当者:(1組:稲本 ㊟)(2組:稲本 ㊟)(3組:稲本 ㊟)(4組:稲本 ㊟)(5組: ㊟)(6組: ㊟)
 使用教科書:数学Ⅱ Standard(東京書籍)
 使用教材:WRITE数学Ⅱ(東京書籍)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
数式の公式やグラフに関する基礎的な知識を習得し、その知識を活用する技能を身につける。個々の生徒の理解力に適応した指導を行い、基礎学力の定着を図るとともに、学力の十分な伸長を目指す。	物事を数量的に捉え、筋道をたてて思考する習慣を身につけさせる。	授業を大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育てる。個々の生徒の理解力に適応した指導を行い、基礎学力の定着を図るとともに、学力の十分な伸長を目指す。

指導内容 【年間授業計画】	数学総合βの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 座標平面と点	座標を使った点の表現を理解し、座標を用いて点の距離や条件を満たす点の座標などを求めることができる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
直線の方程式	条件を満たす直線の方程式を表すことができる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
2直線の平行と垂直	直線の方程式から、平行・垂直の関係を判断できる	関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
復習		関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
5月 中間考査		関・見・技・知 定期考査 プリント提出				1
点と直線の距離	点と直線の距離について、求めることができる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				1
円の方程式	中心や半径を求めて円の方程式を表すことができる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
円の方程式	円の方程式から、中心や半径を読み取り、どのような円を表しているか判断することができる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				2

	指導内容 【年間授業計画】	数学総合βの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	円と直線	円と直線の共有点や位置関係が求められる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				3
	復習		関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
7月	期末考査		関・見・技・知 定期考査 プリント提出				1
	復習		関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
	復習		関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
		夏季休業日					
		夏季休業日					

指導内容 【年間授業計画】	数学総合βの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
8月	夏季休業日						
	夏季休業日						
	夏季休業日						
	夏季休業日						
	夏季休業日						
9月	復習	直線の方程式や円の方程式について、確実に理解できる。	関・見・技・知				1
	軌跡	一定の条件を満たす点がどのような軌跡になるか求められる。	関・見・技・知				1
	連立不等式と領域	連立不等式で表された式がどのような領域になるかがわかる。	関・見・技・知				1
	連立不等式と領域	連立不等式で表された式がどのような領域になるかがわかる。点の存在範囲を用いた応用問題が解ける。	関・見・技・知				1
	式と証明	恒等式、不等式の証明について、表現方法を理解する。	関・見・技・知				2
復習		関・見・技・知				2	

指導内容 【年間授業計画】	数学総合βの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
中間考査		関・見・技・知 定期考査 プリント提出				2
10月 三角関数のグラフ	三角関数グラフが描ける。平行移動の幅も式から読み取れる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				1
三角関数を含む方程式・不等式	三角関数を含む方程式・不等式が解ける。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
加法定理 加法定理の応用	様々な公式を加法定理から導ける。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
11月 加法定理の応用 三角関数の合成	様々な公式を用いて問題が解ける。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
微分係数 接線	微分係数について理解し、計算できる。接線について理解し、計算できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
微分係数 接線	微分係数について理解し、計算できる。接線について理解し、計算できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
復習		関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
復習		関・見・技・知 小テスト プリント提出				2

	指導内容 【年間授業計画】	数学総合βの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	期末考査		関・見・技・知 定期考査 プリント提出				1
	復習		関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
1 月	関数の極大、極小	関数の極大、極小について理解し、計算できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
	関数の最大、最小 方程式・不等式への応用	グラフ利用し、最大値や最小値が求められる。方程式を解いたり、不等式の証明ができる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				3
	定積分の性質	定積分と面積について理解し、計算できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
	面積	定積分と面積について理解し、計算できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				3

	指導内容 【年間授業計画】	数学総合βの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	定積分と面積	定積分と面積について理解し、計算できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				3
	復習		関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
3月	期末考査		関・見・技・知 定期考査 プリント提出				1
	復習		関・見・技・知 小テスト プリント提出				2

教科:(数学) 科目:(数学総合α) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組:山口・村岡・加藤 ㊟)(2組:山口・村岡・加藤 ㊟)(3組:山口・村岡・加藤 ㊟)(4組:山口・村岡・加藤 ㊟)(5組:山下・山口 ㊟)(6組: ㊟)

使用教科書:

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
数式の公式やグラフに関する基礎的な知識を習得し、その知識を活用する技能を身につける。個々の生徒の理解力に応じた指導を行い、基礎学力の定着を図るとともに、学力の十分な伸長を目指す。	物事を数量的に捉え、筋道をたてて思考する習慣を身につけさせる。	授業を大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育てる。個々の生徒の理解力に応じた指導を行い、基礎学力の定着を図るとともに、学力の十分な伸長を目指す。

指導内容 【年間授業計画】	の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
4月	二項定理	式の展開と二項定理の考え方が理解できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	二項定理	式の展開と二項定理の考え方が理解できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
5月	恒等式	恒等式と方程式の違いが解り、係数が求められる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	等式の証明 不等式の証明	等式の証明や不等式の証明が様々な種類に対して対応できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	等式の証明 不等式の証明	等式の証明や不等式の証明が様々な種類に対して対応できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	復習	二項定理 恒等式	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	復習	等式・不等式の証明	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
中間考査		関・見・技・知 定期考査 プリント提出	○	○	○	1	
相加平均と相乗平均	一定の条件で相加平均や相乗平均の関係を用いて、不等式の証明ができる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2	

	指導内容 【年間授業計画】	の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	因数定理と高次方程式	因数定理を用いて、高次方程式が解ける。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	因数定理と高次方程式	因数定理を用いて、高次方程式が解ける。3次方程式の解と係数の関係を使い、式の値が求められる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	2直線の平行と垂直	直線の方程式から平行や垂直の関係が判断できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
7月	2直線の平行と垂直	直線の平行や垂直条件を用いて、応用問題が解ける。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	復習	因数定理・高次方程式 2直線の平行・垂直	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	期末考査		関・見・技・知 定期考査 プリント提出	○	○	○	1

	指導内容 【年間授業計画】	の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	円と直線	円と直線の共有点が求められる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	円と直線	円と直線の共有点や位置関係が求められる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	軌跡	一定の条件を満たす点がどのような軌跡になるか求められる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	連立不等式と領域	連立不等式で表された式がどのような領域になるかがわかる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	連立不等式と領域	連立不等式で表された式がどのような領域になるかがわかる。点の存在範囲を用いた応用問題が解ける。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	復習		関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月 中間考査		関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	1
三角関数のグラフ	三角関数グラフが描ける。平行移動の幅も式から読み取れる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
三角関数を含む方程式・不等式	三角関数を含む方程式・不等式が解ける。	関・見・技・知 定期考査 プリント提出	○	○	○	2
加法定理 加法定理の応用	様々な公式を加法定理から導ける。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
11月 加法定理の応用 三角関数の合成	様々な公式を用いて問題が解ける。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
加法定理の応用 三角関数の合成	様々な公式を用いて問題が解ける。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
指数関数と対数関数のグラフ	指数関数・対数関数のグラフが描ける。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	復習		関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	期末考査		関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	常用対数	常用対数の使い方が解る。	関・見・技・知 定期考査 プリント提出	○	○	○	2
1 月	微分係数 接線	微分係数について理解し、計算できる。接線について理解し、計算できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	関数の極大、極小	関数の極大、極小について理解し、計算できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	関数の最大、最小 方程式・不等式への応用	グラフ利用し、最大値や最小値が求められる。方程式を解いたり、不等式の証明ができる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	定積分の性質	定積分の性質を用いて、計算ができる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月	面積	定積分と面積について理解し、計算できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出				2
	定積分と面積	定積分と面積について理解し、計算できる。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
3月	期末考査		関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	1
	復習		関・見・技・知 定期考査 プリント提出	○	○	○	2

教科:(数学) 科目:(数学基礎) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(火曜日:村岡 ㊟)(金曜日:加藤 ㊟)

使用教科書:

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
数式の公式やグラフに関する基礎的な知識を習得し、その知識を活用する技能を身に付ける。個々の生徒の理解力に応じた指導を行い、基礎学力の定着を図るとともに、学力の十分な伸長を目指す。	物事を数量的に捉え、筋道をたてて思考する習慣を身につけさせる。	授業を大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育てる。個々の生徒の理解力に応じた指導を行い、基礎学力の定着を図るとともに、学力の十分な伸長を目指す。

指導内容 【年間授業計画】	数学基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
4月	式の計算	中学校、数学 I で学んだ計算ができるようにする	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	展開	数学 I で学んだ展開の公式を使って多項式の乗法を身に付ける	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	3
5月	因数分解	数学 I で学んだ因数分解の公式を使って因数分解を身に付ける	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	3
	実数	中学校、数学 I で学んだ数の世界について深く理解する。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	3
	復習		関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	1
	中間考査		定期考査 プリント提出	○	○	○	1
文字式の計算と文字式の使い方	和、差、積、商が文字で表せる	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2	
不等式	数学 I で学んだ不等式が解け、不等式を利用した文章題を解けるようにする。	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	3	

	指導内容 【年間授業計画】	数学基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	2次方程式	中学校、数学Iで学んだ2次方程式が解ける	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	3
	復習		関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	期末考査		定期考査 プリント提出	○	○	○	1
7月							

	指導内容 【年間授業計画】	数学基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	データの分析	中学校で基本的な言葉の意味を理解し計算ができる	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	データの分析	箱ひげ図をつくることができるようになる	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	データの分析	データの散らばり度合いをさまざまな数値から考察することができる	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	データの分析	データの散らばり度合いをさまざまな数値から考察することができる	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
	復習	データ分析	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	3

指導内容 【年間授業計画】	数学基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	中間考査	定期考査 プリント提出	○	○	○	2
	場合の数	基本的な事象の場合の数が数えられる 関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	3
	順列、組合せ	基本的な事象の順列、組合せの数が数えられる 関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	3
11月	確率	基本的な事象の確率が求められる 関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	3
	確率	確率の基本性質を用いてさまざまな事象の確率が求められる 関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	3
	確率	独立試行、反復試行の確率が求められる 関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	3
	復習	確率 関・見・技・知 プリント提出	○	○	○	1
	期末考査	定期考査 プリント提出	○	○	○	1

	指導内容 【年間授業計画】	数学基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月							
1 月	平面図形	三角形の辺の比と角の関係を理解できる	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	3
	平面図形	・三角形の五心を理解できる ・三角形の比の定理が理解できる	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	4
	平面図形	三角形の比の定理が理解できる	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	数学基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
	2月	平面図形	方べきの定理を使って問題が解ける	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○
復習		平面図形	関・見・技・知 小テスト プリント提出	○	○	○	2
学年末考査			定期考査 プリント提出	○	○	○	1
3月							

教科:(数学) 科目:(数学B) 単位数:2単位 対象:(第2学年)
 教科担当者:(1組:㊟)(2組:㊟)(3組:㊟)(4組:㊟)(5組:山口 ㊟)(6組:㊟)
 使用教科書:東京書籍
 使用教材:数学B Standard

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	数学Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	等差数列の一般項	等差数列とはどんな数列か理解する。また、その一般項を求めることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	4
	等差数列の和	等差数列の和を求めることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	4
5月	等比数列の一般項	等比数列とはどんな数列か理解する。また、その一般項を求めることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	4
	等比数列の和	等比数列の和を求めることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	4
	Σ記号	Σ記号の意味を理解できる。 数列の和をΣで表すことができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	3
	Σの性質とΣの公式	Σの線形性を理解できる。 Σ公式を用いてΣ計算ができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	数学Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	隣り合う数列の和	積を差分解して Σ 計算できる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
7月	S_n から数列の一般項を求める	数列の和から数列の一般項を求めることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	数学Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	Σar^{n-1}	等比数列の和の Σ 計算ができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	階差数列	階差数列から数列の一般項を求めることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	3
	漸化式	漸化式はどのような式が理解する。 等差型・等比型・階差型の漸化式から数列の一般項を求めることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	3
	漸化式	漸化式はどのような式が理解する。 等差型・等比型・階差型の漸化式から数列の一般項を求めることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	数学Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	漸化式	特性方程式から特殊解を求めて数列の一般項を求めることができる。	○	○	○	4
11月	確率分布	確率変数について理解する。	○	○	○	2
	確率分布	確率分布を正しく求めることができる。	○	○	○	3
	確率分布	確率分布を用いて、確率変数の平均や分散を正しく求めることができる。	○	○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	数学Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	確率分布	確率変数の平均と分散の性質	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
1 月	確率分布	確率変数の平均と分散の性質	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	3
	確率分布	確率変数の和と積	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	3
	確率分布	二項分布	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	確率分布	二項分布	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	数学Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	確率分布	二項分布の平均と分散	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	正規分布	正規分布	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	正規分布	正規分布による近似	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
3月							
	統計的な推測	まとめ	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2

教科:(数学) 科目:(数学Ⅱ) 単位数:5組単位 対象:(第2学年)
 教科担当者:(1組:㊟)(2組:㊟)(3組:㊟)(4組:㊟)(5組:村岡 ㊟)(6組:㊟)
 使用教科書:数学Ⅱ Stsandard(東京書籍)
 使用教材:WRITE数学Ⅱ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
数式の公式やグラフに関する基礎的な知識を習得し、その知識を活用する技能を身につける。個々の生徒の理解力に応じた指導を行い、基礎学力の定着を図るとともに、学力の十分な伸長を目指す。	物事を数量的に捉え、筋道をたてて思考する習慣を身につけさせる。	授業を大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育てる。個々の生徒の理解力に応じた指導を行い、基礎学力の定着を図るとともに、学力の十分な伸長を目指す。

	指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	多項式の乗法と因数分解、二項定理	多項式の乗法ができる。 3乗の公式を利用した因数分解ができる。 二項定理の考え方を理解し活用できる。	提出物 授業態度	○	○	○	4
	多項式の除法 複素数とその計算	多項式の除法や分数式の四則演算の方法について、理解している。 数を複素数まで拡張し、四則演算を行うことができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4
	解の公式	2次方程式を複素数の範囲で解くことができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4
5月	解の公式	2次方程式の解の種類の判別を行うことができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4
	解と係数の関係	解と係数の関係について、理解できる。	提出物 授業態度	○	○	○	2
	考査	復習及び考査	定期考査 提出物	○	○	○	1
	因数定理と高次方程式と照明	剰余の定理や因数定理について理解し、多項式の因数分解や除法における余りを求めることができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4
	2点間の距離 内分点・外分点 直線の公式	座標平面上にある2点間の距離を求める方法を理解できる。 数直線上や座標平面上の内分点・外分点について理解し、図形の考察に活用できる。 与えられた条件を用いて平面上の直線の方程式を求めることができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4
円の方程式	与えられた条件を用いて、円の方程式を求めることができる。また、与えられた方程式がどのような図形を表すか、判断することができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4	

	指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	円と直線	円と直線をそれらの方程式の関係として捉え、共有点の座標や接線、円と直線の位置関係や2円の位置関係などについて考察することができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4
	軌跡とその方程式	軌跡について理解し、与えられた条件から軌跡の方程式を求めることができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4
7月	考查	復習及び考查	定期考查 提出物	○	○	○	1
	恒等式 等式・不等式の証明	等式について理解を深め、恒等式となるような値を求めたり、等式が成り立つことを証明することができる。 実数や不等式の性質をもとにして不等式が成り立つことを証明することができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	一般角と弧度法 三角関数	角の概念を一般角まで拡張することや弧度法を用いる必要性、弧度法の基本的な考え方について、理解することができる。 一般角に対する三角関数の定義を理解し、三角関数の値を求めることができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4
	三角関数の性質	三角関数の相互関係などの基本的な性質について理解し、三角関数の値をもとめることができる。 動径が表す角と三角関数の値との関係を考察し、いろいろな角の三角関数の値を求めることができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4
	三角関数のグラフ	三角関数のグラフの特徴について理解し、与えられた三角関数のグラフをかくことができる。三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4
	三角関数を含む方程式・不等式	三角関数の性質や単位円、グラフなどを用いて、三角関数を含む方程式や不等式を解くことができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4
	加法定理	三角関数の加法定理について理解し、与えられた三角関数の値を求めることができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4
加法定理とその応用 三角関数の合成	二倍角の公式を活用して与えられた三角関数の値を求めたり、三角関数を含む方程式を解いたりすることができる。 三角関数の合成を理解し、与えられた三角関数の値を求めたり、合成を利用して最大値・最小値を求めたりすることができる。	提出物 授業態度	○	○	○	4	

指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	考查	定期考查 提出物	○	○	○	1
	導関数 導関数の計算	一般の関数についての平均変化率や微分係数を求め、その図形的な意味を考察することができる。導関数の定義を理解し、関数の導関数を求めることができる。	○	○	○	4
	導関数の計算	導関数の性質を用い、導関数を求めることができる。導関数を利用し、微分係数や接線の方程式を求めることができる。	○	○	○	4
1 月						
	関数のグラフと増減	関数とその導関数の関係を理解し、関数の増加、減少及び極値を調べ、グラフの概形を	○	○	○	4
	関数のグラフと増減	関数とその導関数の関係を理解し、関数の増加、減少及び極値を調べ、グラフの概形を	○	○	○	4
	原始関数	原始関数について理解し、関数の不定積分を求めることができる。	○	○	○	4
不定積分	不正的分を求めることができる。	○	○	○	4	

指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅱの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	定積分	不定積分を用いて、定積分の値を求めたり、定積分の性質について考察したりすることができる。定積分を含む関数や、上端が変数の定積分について考察することができる。	○	○	○	4
	面積	積分の考えを利用して、直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。	○	○	○	4
	まとめ	数学Ⅱのまとめ	○	○	○	2
3月	考査		○	○	○	1
	復習	数学Ⅲにむけて、総復習	○	○	○	4
	復習	数学Ⅲにむけて、総復習	○	○	○	4

教科:(社会) 科目:(地域研究) 単位数:2単位 対象:(第2学年)
 教科担当者:(金曜日:川澄 ㊟)(2組: ㊟)(3組: ㊟)(4組: ㊟)(5組: ㊟)(6組: ㊟)
 使用教科書:
 使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
地図などの見方・考え方とその活用を修得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、社会と自然の事物・現象を地理的・科学的に探究する技能を身に付ける。	社会と自然の事物・現象の中に問題を思いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現する力を身に付ける。	社会と自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするともに、地理的見方・分析力・判断力を身に付ける。

	指導内容 【年間授業計画】	地域研究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知 思 態			予定時数
				知	思	態	
4月	初回オリエンテーション	・授業の受け方や持ち物、評価などについて理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	6大陸3大洋	・代表的な世界の国々の名称と位置を理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
	地上の現象と地球上の位置	・白夜の地域と日本とを比較させ、緯度や経度の基本的なしくみを理解する。 ・地球の自転と公転が季節に関係していることを捉える。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
5月	経度の違いと時差	・経度の違いと時差のしくみについて理解する。 ・時差の計算方法を身につける。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
	球面と平面の世界	・球面である地表面を平面である世界地図に表現する際に生じるひずみについて理解する。 ・正積図、正距方位図、正角図の特徴と利用方法を理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
	国家の領域と国境 日本の領域	・国家の領土、領空、領海の範囲について理解する。 ・日本の位置と排他的経済水域の範囲を理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
	世界の大地形と人々の生活 山地・平野の地形と人々の生活	・地形を形成する内的営力と外的営力について理解する。 ・河川がつくる山地や平野の地形の種類を知る。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
海岸の地形と人々の生活 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活	・海岸で見られる地形の特徴とその利用法について理解する。 ・氷河地形、カルスト地形、乾燥地形の特徴と人々の生活との関わりについて理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4	

	指導内容 【年間授業計画】	地域研究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	中国に関する学習 ・自然環境 ・歴史と社会 ・農業	<ul style="list-style-type: none"> ・国内での自然環境の地域差を理解する。 ・中国の人口問題とその解決策について考察する。 ・中国が抱える農業の問題を理解する。 	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	中国に関する学習 ・工業と資源 ・生活の変化と格差 まとめ学習	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の資源とエネルギーの課題について理解する。 ・経済格差とその格差を埋めるための対策について考察する。 	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	東南アジアに関する学習 ・自然環境 ・歴史と民族 ・農業	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアの自然環境について、モンスーンの特徴に着目して理解する。 ・植民地支配とモノカルチャー経済との関係を理解する。 ・盛んに行われている稲作について理解する。 	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	東南アジアに関する学習 ・工業の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・各国で進められた工業化の特徴を理解する。 ・ASEAN域内の結びつきと近隣諸国との関係について理解する。 	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	地域研究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	インドに関する学習 ・自然環境 ・宗教 ・産業の発展	・インドとその周辺の自然環境について理解する。 ・ヒンドゥー教の特徴について理解する。 ・成長するインドの工業とIT産業について理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	サハラ以南のアフリカに関する学習 ・自然環境 ・歴史と文化	・アフリカの自然環境の特徴を理解する。 ・ヨーロッパ諸国による植民地支配の歴史とその影響について理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
11月	サハラ以南のアフリカに関する学習 ・経済	・モノカルチャー経済をめぐる様々な問題について理解する。 ・南アフリカ共和国の変化を人種問題を通して理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	ヨーロッパに関する学習 ・自然環境 ・文化	・ヨーロッパの多様な地形や気候について理解する。 ・キリストに深く結びついた文化と宗教や言語の多様性について理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	ヨーロッパに関する学習 ・産業	・自然環境に対応したヨーロッパの農業について理解する。 ・ヨーロッパの盛んな工業について理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	ヨーロッパに関する学習 ・統合とその課題	・EUへの統合への歩みと、歩みが進んでいる理由を考察する。 ・EUの統合、拡大によってどのような課題を抱えるようになったのか理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	地域研究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月							
	アメリカ合衆国に関する 学習 ・自然環境 ・移民の歴史	・自然環境に関して、地形や気候の東西差に注目して理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
1 月	アメリカ合衆国に関する 学習 ・自然環境 ・移民の歴史	・自然環境に関して、地形や気候の東西差に注目して理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	アメリカ合衆国に関する 学習 ・移民の歴史と多文化社会 ・農業	・移民の歴史を学び、他民族・多文化社会が形成された過程を理解する。 ・自然環境に適した農業地域の特徴とその背景について理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	アメリカ合衆国に関する 学習 ・産業 ・工業	・工業の変遷について理解する。 ・最先端技術産業が世界をリードしている背景を理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	オーストラリアに関する 学習 ・自然環境	・オーストラリアとその周辺の自然環境について、内陸部と沿岸部の違いに注目し、理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	地域研究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	オーストラリアに関する学習 ・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境に適した農業が行われていることを理解する。 ・エネルギー資源の豊富なオーストラリアの鉱工業について理解する。 	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
3月							

教科:(社会) 科目:(社会理解) 単位数:2単位 対象:(第2学年)
 教科担当者:(1組:平地 ㊟)(2組:㊟)(3組:㊟)(4組:㊟)(5組:㊟)(6組:㊟)
 使用教科書:東京書籍
 使用教材:高校 社会入門

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
人間と社会のあり方について、体系的に理解をし、応用することができる。	社会の問題に対して論理的に考え、解決に導くことができる。また、問題解決のために仲間と共同しながら自分の考えを表現することができる。	社会の中の多様性を理解して、仲間との協力、自分の感情のコントロール、相手への配慮ができる。

指導内容 【年間授業計画】	社会理解の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
4月	○世界の国々	○世界のおもな国々の名称・位置・首都名を知る。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	2
	○地球のすがた ○世界と日本のすがた	○地球のすがた ○世界と日本のすがた	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	2
	○日本のすがた（都道府県）	○都道府県名とその位置を理解する。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	2
5月	○世界と日本の地形	○世界の地形の代表例である山脈・造山帯等の位置をとらえる。 ○日本の地形の代表例である山地・山脈・平野・川等の位置をとらえる。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	2
	○世界と日本の気候	○世界の気候について、熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯（冷帯）・寒帯の分布を知る。 ○日本の気候の特色を知る。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	4
	○世界と日本の気候	○世界の気候について、熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯（冷帯）・寒帯の分布を知る。 ○日本の気候の特色を知る。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	2
	○世界と日本の人口・資源	○世界の人口分布と変化、日本の人口と人口問題について知る。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	社会理解の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	○世界の自然環境と都市	○世界の代表的な河川・砂漠・都市の位置等を知る。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	4
7月	○日本の工業	○日本の工業の特色（加工貿易、工業地域、工業の種類、公害問題）について知る。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	2
	○日本の農業	○日本の農業の特色（専業農家、兼業農家、問題点）について知る。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	4
	○確認テスト	○1学期の学習内容について理解する。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	社会理解の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	○日本の国土	○日本の地形、人口、領域を知る。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	4
	○日本の国土	○日本の自然、主な山・川・平野、気候の特色を知る。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	2
	○日本国憲法	○日本国憲法の基本原理を知る。 ○人権と個人の尊重についての概略を知る。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	社会理解の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	○政治	○国会・内閣・裁判所のはたらきについて知る。 ○選挙のしくみについて知る。 ○現代の行政の特色について知る。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	4
11月	○経済	○企業の役割、市場と価格、金融のはたらきについて知る。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	4
	○時代区分 ○世界の古代文明	○日本の時代区分、世界の古代文明の位置を知る。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	2
	○縄文時代 ○弥生時代	○縄文時代、弥生時代の概略について知る。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	社会理解の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	○古墳時代 ○飛鳥時代	○古墳時代、飛鳥時代の概略を知る。	授業への積極性・出席 状況・プリント・ワー ク	○	○	○	4
	確認テスト	○2学期の学習内容について理解する。	授業への積極性・出席 状況・プリント・ワー ク	○	○	○	2
1 月	○現代社会の諸課題～私 たちの身近な問題を考 える～	○テーマに沿って集めた複数の情報を、整理し、伝えたい内容を検討する。 ○相手や目的を意識しながら、資料を効果的に用いてプレゼンテーションをする。	授業への積極性・出席 状況・プリント・ワー ク	○	○	○	4
	○現代社会の諸課題～私 たちの身近な問題を考 える～	○テーマに沿って集めた複数の情報を、整理し、伝えたい内容を検討する。 ○相手や目的を意識しながら、資料を効果的に用いてプレゼンテーションをする。	授業への積極性・出席 状況・プリント・ワー ク	○	○	○	4
	○現代社会の諸課題～私 たちの身近な問題を考 える～	○テーマに沿って集めた複数の情報を、整理し、伝えたい内容を検討する。 ○相手や目的を意識しながら、資料を効果的に用いてプレゼンテーションをする。	授業への積極性・出席 状況・プリント・ワー ク	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	社会理解の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	○現代社会の諸課題～私たちの身近な問題を考える～	○テーマに沿って集めた複数の情報を、整理し、伝えたい内容を検討する。 ○相手や目的を意識しながら、資料を効果的に用いてプレゼンテーションをする。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	2
	○現代社会の諸課題～私たちの身近な問題を考える～	○テーマに沿って集めた複数の情報を、整理し、伝えたい内容を検討する。 ○相手や目的を意識しながら、資料を効果的に用いてプレゼンテーションをする。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク	○	○	○	2
3月							

教科:(社会) 科目:(歴史総合) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組:平地 ㊟)(2組:倉田 ㊟)(3組:倉田 ㊟)(4組:倉田 ㊟)(5組:倉田 ㊟)(6組: ㊟)

使用教科書:第一学習社

使用教材:新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	指導内容 【年間授業計画】	歴史総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知 思 態			予定時数
				知	思	態	
4月	第1章 歴史の扉 1節 歴史と私たち	○諸資料を活用し、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	2節 歴史の特質と資料	○日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料を活用し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
5月	第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い	○交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	2節 結び付く世界と日本の開国 1 18世紀の東アジア	○18世紀の東アジア諸国がどのような関係を築いていったのかについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	2 結び付くアジア諸地域	○18世紀のアジア諸地域はどのように結び付いていたのかについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	3 18世紀のヨーロッパとアジア	○18世紀のヨーロッパとアジアとの交易にはどのような変化が見られたのかについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	4 産業革命のはじまり 5 世界市場の形成	○産業革命が社会にどのような変化をもたらしたのかについて理解する。 ○産業革命を経て、世界各地の経済がどのように変化したのかについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	6 東アジア国際関係の変化と日本の開国 7 世界経済の変化と日本の産業革命	○19世紀の東アジアが、西欧諸国とどのような関わりを持ったのかについて理解する。 ○イギリスで始まった産業革命が、どのように世界に広まったのかについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	3節 国民国家と明治維新 1 市民革命と近代社会 2 自由主義とナショナリズム	○市民革命はどのような社会の仕組みを生み出したのかについて理解する。 ○19世紀の欧米諸国では、どのような国家形態が模索されたのかについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	歴史総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	3 アジアの諸国家とその変容 4 明治維新と東アジアの国際関係	○19世紀のアジア諸地域では、どのような背景のもとにどのような政治的变化が生じたのかについて理解する。 ○明治維新は、どのような国際環境の中で起き、日本社会をどのように変えたのかについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	5 立憲制の広まり	○19世紀後半の立憲制国家は、それぞれどのような特徴を持っていたのかについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
7月	6 帝国主義と植民地 7 日清戦争と華夷秩序の解体	○帝国主義とは何かを理解する。また、帝国主義国の植民地獲得競争がどのように繰り広げられたのかについて理解する。 ○日清戦争が東アジアの国際秩序にどのような影響を与えたのかについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	8 帝国主義諸国の競合と国際関係	○帝国主義国家どうしがどのような関係を築いたのかについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	9 植民地支配と植民地の近代 10 20世紀はじめの世界	○植民地の人々がどのような支配を受けていたのかについて理解する。 ○20世紀初期、帝国主義に対して世界各地の人々はどのような態度を示したのかについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	歴史総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	第3章 国際秩序の変化 や大衆化と私たち 1 大衆社会の時代	○大衆化とは何かを理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	2 第一次世界大戦の展開 3 国際協調体制の形成	○第一次世界大戦はどのように展開したのかについて理解する。 ○第一次世界大戦後の国際協調体制について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	4 ソヴィエト連邦の成立と社会主義 5 アメリカ合衆国の台頭と大量消費社会	○ソヴィエト連邦の成立と、社会主義運動の拡大について理解する。 ○アメリカ合衆国の台頭と大衆文化の広がりについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	6 アジアの経済成長と移動する人々	○アジアの経済成長とそれぞれの地域の結び付きについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	7 反植民地主義の高揚と国際秩序の変容	○反植民地主義の高揚と国際秩序の変容について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	歴史総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	8 民主主義の拡大と社会変革の動き	○世界における民主主義の進展と、日本での展開について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
11月	3節 経済危機と第二次世界大戦 1 世界恐慌	○世界恐慌が発生した原因とそれに対する各国の対応について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	2 アジア・アフリカと大衆社会 3 国際協調体制の崩壊	○動揺しつつある国際協調体制下での、アジア・アフリカ諸国の人々の対応について理解する。 ○第一次世界大戦後の国際協調体制の崩壊について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	4 日中戦争と深刻化する世界の危機 5 第二次世界大戦の勃発	○日中戦争やファシズムの膨張による世界の危機について理解する。 ○第二次世界大戦の勃発とその拡大、および日中戦争との結び付きについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	6 第二次世界大戦における連合国と戦後構想 7 アジア太平洋戦争と日本の敗戦	○第二次世界大戦の終結と戦後の国際秩序の形成について理解する。 ○アジア太平洋戦争の展開と、日本の敗戦について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	8 連合国の占領政策と冷戦	○連合国の占領政策と冷戦の始まりについて理解する	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	歴史総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	9 再編されるアジアと冷戦	○冷戦下に再編されたアジア諸地域の動きについて理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済 1 冷戦の拡大と第三勢力	○冷戦の拡大と第三勢力の台頭について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
1 月	2 キューバ危機と核兵器の管理 3 脱植民地化の進展と地域紛争	○冷戦下の核開発競争と宇宙開発競争、および核兵器管理への方針転換について理解する。 ○アジア・アフリカにおける脱植民地化の動きと、それらの地域で起こった地域紛争について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	4 計画経済と開発	○自由主義国，社会主義国，開発途上国の経済政策について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	5 冷戦下の日本とアジア 6 日本と欧米先進国の経済成長	○冷戦下の日本の国内政治とアジア外交について理解する。 ○欧米先進国と日本の経済成長とそれに伴う社会の変容について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	7 地域連携の拡大 8 ベトナム戦争と冷戦構造の変容	○ヨーロッパやアジアにおける地域連携の動きについて理解する。 ○ベトナム戦争と冷戦構造の変容について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2

教科:(国語) 科目:(国語基礎) 単位数:2単位 対象:(第2学年)
 教科担当者:(1組:松下 ㊟)(2組:松下 ㊟)(3組:松下 ㊟)(4組:松下 ㊟)(5組:㊟)(6組:㊟)
 使用教科書:LT現代文(浜島書店)
 使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを上げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	国語基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	オリエンテーション 評論『わたし的には』の壁	<ul style="list-style-type: none"> 授業の進行・評価・内容について知る 表で比較して主張をとらえる 中心文をつかむ 	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	評論『わたし的には』の壁	<ul style="list-style-type: none"> 表で比較して主張をとらえる 中心文をつかむ 	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
				○	○	○	
5月	中間考査			○	○		2
	評論「無表情なキャラクター」	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を読みとる 筆者独自の見方に着目する 中心文をつかむ 具体例の役割を考える 	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	評論「無表情なキャラクター」	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を読みとる 筆者独自の見方に着目する 中心文をつかむ 具体例の役割を考える 	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	評論「便利なものは必要ない」	<ul style="list-style-type: none"> 具体例と結びつけて考える 中心文をつかむ 具体例との関連を考える 	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	国語基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	評論「便利なものは必要ない」	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例と結びつけて考える ・中心文をつかむ ・具体例との関連を考える 	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	グラフ・図・実用的な文章の読み取り	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を正確に読み取り、文章理解に活かす 	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	グラフ・図・実用的な文章の読み取り	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を正確に読み取り、文章理解に活かす 	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
7月	期末考査			○	○		2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定3級程度)	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	国語基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	評論「植物がしたこと」	<ul style="list-style-type: none"> 適切な情報を選択する 中心文をつかむ 特徴的な言葉をとらえる 要旨をまとめる 	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	評論「植物がしたこと」	<ul style="list-style-type: none"> 適切な情報を選択する 中心文をつかむ 特徴的な言葉をとらえる 要旨をまとめる 	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	評論「植物がしたこと」	<ul style="list-style-type: none"> 適切な情報を選択する 中心文をつかむ 特徴的な言葉をとらえる 要旨をまとめる 	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	評論「見えない心に想いをはせる」	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞から論理関係をとらえる 中心文をつかむ 要旨をまとめる 	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	評論「見えない心に想いをはせる」	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞から論理関係をとらえる 中心文をつかむ 要旨をまとめる 	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	評論「見えない心に想いをはせる」	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞から論理関係をとらえる 中心文をつかむ 要旨をまとめる 	知・技・思・判・表・態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	国語基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
中間考査			○	○		2	
10月	評論「畳の文化」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方を考える ・中心文をつかむ ・筆者の主張をふまえて自分の意見をまとめる 	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	評論「畳の文化」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方を考える ・中心文をつかむ ・筆者の主張をふまえて自分の意見をまとめる 	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
11月	評論「モネの美しい色彩の謎」	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的な対比をとらえる ・筆者のものの見方を考える ・中心文をつかむ ・要旨をまとめる 	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	評論「モネの美しい色彩の謎」	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的な対比をとらえる ・筆者のものの見方を考える ・中心文をつかむ ・要旨をまとめる 	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	評論「学びからの逃走」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張と対照する ・中心文をつかむ ・語彙を広げる ・自分の考えを持つ 	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	評論「学びからの逃走」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張と対照する ・中心文をつかむ ・語彙を広げる ・自分の考えを持つ 	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	国語基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	期末考査		○	○		1	
	図の活用と実用的な文章	・情報を正確に読み取り、文章理解に活かす	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	図の活用と実用的な文章	・情報を正確に読み取り、文章理解に活かす	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	図の活用と実用的な文章	・情報を正確に読み取り、文章理解に活かす	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	1
1 月							
	随筆「表紙からのメッセージ」	・筆者の考えの変容をとらえる ・中心文をつかむ ・自分の考えを持ち、表現する	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	随筆「表紙からのメッセージ」	・筆者の考えの変容をとらえる ・中心文をつかむ ・自分の考えを持ち、表現する	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	随筆「表紙からのメッセージ」	・筆者の考えの変容をとらえる ・中心文をつかむ ・自分の考えを持ち、表現する	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
小説「父娘ピクニック」	・表現の工夫をとらえる ・登場人物の心情を捉える。	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2	

指導内容 【年間授業計画】	国語基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月	小説「父娘ピクニック」	・表現の工夫をとらえる ・登場人物の心情を捉える。	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	評論「相手をしてくれる」メディア	・具体例を用いた説明をとらえる ・中心文をつかむ ・自分の考えを持ち、表現する	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	2
	評論「相手をしてくれる」メディア	・具体例を用いた説明をとらえる ・中心文をつかむ ・自分の考えを持ち、表現する	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	1
3月	学年末考査			○	○		1
	評論「言語における規範と創造」	・図式化して考える ・中心文をつかむ ・自分の考えを持ち、表現する	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	1
	評論「言語における規範と創造」	・図式化して考える ・中心文をつかむ ・自分の考えを持ち、表現する	知・技・思・判・表・ 態 問題集 ノート プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	1

教科:(国語) 科目:(古典探究) 単位数:4単位 対象:(第2学年)
 教科担当者:(1組:㊟)(2組:㊟)(3組:㊟)(4組:㊟)(5組:西㊟)(6組:㊟)
 使用教科書:精選古典探究(第一学習社)
 使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
「読むこと」の内容と関連づけながら、文語のきまりや古語の意味、訓詁のきまりなどの知識を深め、語彙を豊かにする。作品の歴史的・文化的背景について理解を深める。	古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える力を養う。書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、自分のものの見方や考え方を深める。課題に応じて調査した成果をわかりやすく発表し伝える力を身につける。	単語テスト、ワークシート提出、授業ノート提出などを通して学びに向かう姿勢と力を養う。グループで調べ学習をして発表する機会を設け、積極的な学びを促し協同性を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	古典探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	ガイダンス・基礎学力テスト	授業内容・評価の仕方の説明、授業を受ける際の注意を徹底する。 基礎学力テストを行い、昨年の授業で不十分であった部分を自覚させ学びに向かう姿勢を作る。	定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	4
	歴史的仮名遣い 動詞の活用	歴史的仮名遣いについて復習する。 動詞の活用を理解する。	定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	6
	随筆『徒然草』あだし野の露消ゆることなく 『方丈記』ゆく川の流れ	鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 仏教的無常観について理解する。	定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	8
5月	兼好法師と鴨長明の「無常観」比較する。	兼好法師と鴨長明の「無常観」を比較し、書かれ方の違いについて説明できる。	知識・思考	○	○		2
	中間テスト		定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	8
	説話 『古今著聞集』小式部内侍が大江山の歌のこと	著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。単語の種類。	定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	
	物語『伊勢物語』渚の院	物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。時代背景を学ぶ。 形容詞の学習。	定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	4
物語『伊勢物語』渚の院	物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。時代背景を学ぶ。 形容詞の学習。	定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	12	

	指導内容 【年間授業計画】	古典探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	期末考査		知識・思考	○	○		1
	調べ学習・発表 百人一首	百人一首の歌から抜粋して、歌の背景・内容・作者についてまとめて発表する。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢 （態）	○	○	○	8

	指導内容 【年間授業計画】	古典探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	随筆『枕草子』二月つごもりころに	枕草子と清少納言についての知識を深める。登場人物とそれぞれの関係を理解する。作中人物の発言および心情描写に表れているものの見方・考え方を捉える。基本的な助動詞の学習。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	8
	日記『紫式部日記』日本紀の御局	『源氏物語』の作者が時の帝の後宮に仕えていた時の日記を読み、その内面に抱いていた思いに触れる。基本的な助動詞の学習。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	8
	日記『紫式部日記』日本紀の御局	『源氏物語』の作者が時の帝の後宮に仕えていた時の日記を読み、その内面に抱いていた思いに触れる。基本的な助動詞の学習。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	8

指導内容 【年間授業計画】	古典探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
中間考査		知識・思考	○	○		1
10月 漢文『史記』鴻門の会	漢文訓読の仕方について基本を身に付ける。登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	8
11月 漢文『史記』鴻門の会	漢文訓読の仕方について基本を身に付ける。登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。漢文の句法を学ぶ。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	16

	指導内容 【年間授業計画】	古典探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	期末考査		知識・思考	○	○		1
	漢文のまとめ	漢文の句法のまとめ。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	4
1 月	物語『源氏物語』若紫	歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。源氏物語についての知識を深める。 敬語の学習。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	12
	物語『源氏物語』若紫	歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。源氏物語についての知識を深める。 敬語の学習。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	8

	指導内容 【年間授業計画】	古典探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	物語『大鏡』弓争ひ	歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。歴史物語についての知識を深める。 助動詞の復習。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	8
3月	学年末考査		知識・思考	○	○		1
	文法のまとめと古典常識	文法のまとめ学習、および古典における常識を学び理解する。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	4

教科:(国語) 科目:(文学国語) 単位数:2単位 対象:(第2学年)

教科担当者:(1組:飯田 ㊟)(2組:飯田 ㊟)(3組:飯田 ㊟)(4組:飯田 ㊟)(5組:飯田 ㊟)(6組: ㊟)

使用教科書:・新文学国語(三省堂)

使用教材:・学習課題ノート(三省堂)・新訂国語図説六訂版(啓隆社)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や的確に判断する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、効果的に表現する資質・能力を育成する。	我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたって自己を向上させ、自分の思いや考えを広げたり深めたりしていかうとする態度を養う。

指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 授業オリエンテーション	○授業に必要なものの確認。 ○授業の進め方について。 ○評価について。		○	○	○	1
随想『虹の雌雄』蜂飼耳	○筆者の表現や発想のおもしろさについて考える。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
随想『虹の雌雄』蜂飼耳	○筆者の表現や発想のおもしろさについて考える。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
定期考査		知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
5月 小説『予感』青山七恵	○ぼかされた内容は、無理に辻褃合わせせず、疑問のまま保ちたい。「わたし」の行動と心情の変化に注目し、理解する。 ○ぼかされた内容を考察させ、想像力を育む。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
小説『予感』青山七恵	○ぼかされた内容は、無理に辻褃合わせせず、疑問のまま保ちたい。「わたし」の行動と心情の変化に注目し、理解する。 ○ぼかされた内容を考察させ、想像力を育む。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
小説『デューク』江國香織	○表現が生み出す非現実的な世界を捉える。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
小説『デューク』江國香織	○表現が生み出す非現実的な世界を捉える。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	小説『デューク』江國香織	○表現が生み出す非現実的な世界を捉える。 ○文章構成の意図を捉える。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	漢字検定問題演習	○4級～2級の漢字力を養う。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	漢字検定問題演習	○4級～2級の漢字力を養う。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
7月	定期考査		知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	表現 みんなでつなぐリレー小説	○読み手に興味をもたせる構成や展開の工夫をすることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	表現 みんなでつなぐリレー小説	○読み手に興味をもたせる構成や展開の工夫をすることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1

	指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	小説『山月記』中島敦	○前半部分の内容を理解する。 ○漢詩の特徴を理解する。 ○李徴が虎になった理由、袁慆との関係を読み取る。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	小説『山月記』中島敦	○前半部分の内容を理解する。 ○漢詩の特徴を理解する。 ○李徴が虎になった理由、袁慆との関係を読み取る。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	小説『山月記』中島敦	○前半部分の内容を理解する。 ○漢詩の特徴を理解する。 ○李徴が虎になった理由、袁慆との関係を読み取る。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	小説『山月記』中島敦	○前半部分の内容を理解する。 ○漢詩の特徴を理解する。 ○李徴が虎になった理由、袁慆との関係を読み取る。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	小説『山月記』中島敦	○前半部分の内容を理解する。 ○漢詩の特徴を理解する。 ○李徴が虎になった理由、袁慆との関係を読み取る。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	小説『山月記』中島敦	○前半部分の内容を理解する。 ○漢詩の特徴を理解する。 ○李徴が虎になった理由、袁慆との関係を読み取る。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	定期考査		知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	小説『山月記』中島敦	○後半部分を理解する。 ○李徴の頼みを理解する。 ○情景描写を捉える。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	小説『山月記』中島敦	○後半部分を理解する。 ○李徴の頼みを理解する。 ○情景描写を捉える。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	小説『山月記』中島敦	○後半部分を理解する。 ○李徴の頼みを理解する。 ○情景描写を捉える。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
11月	小説『山月記』中島敦	○後半部分を理解する。 ○李徴の頼みを理解する。 ○情景描写を捉える。 ○『人虎伝』との比較を通して、作者の意図をまとめることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	小説『月火水木金土日』 川上弘美	○登場人物の人物像を捉える。 ○成長について考える。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	小説『月火水木金土日』 川上弘美	○登場人物の人物像を捉える。 ○成長について考える。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	小説『月火水木金土日』 川上弘美	○登場人物の人物像を捉える。 ○成長について考える。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	小説『月火水木金土日』 川上弘美	○登場人物の人物像を捉える。 ○成長について考える。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	定期考査		知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	表現 『表現の宝さがし』	○自作の俳句を読み合い、よりよい表現を探る。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	表現 『表現の宝さがし』	○自作の俳句を読み合い、よりよい表現を探る。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
1 月	詩『永訣の朝』宮沢賢治	○作品が表現していることを捉える。 ○表現の特徴や効果について考える。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	詩『永訣の朝』宮沢賢治	○作品が表現していることを捉える。 ○表現の特徴や効果について考える。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	小説『少年という名のメカ』松田青子	○少年と老夫婦、少女のかかわりについて理解する。 ○表現の特徴について理解する。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	小説『少年という名のメカ』松田青子	○少年と老夫婦、少女のかかわりについて理解する。 ○表現の特徴について理解する。 ○作品の主題を捉え、意見交換する。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2

教科:(国語) 科目:(論理国語) 単位数:2単位 対象:(第2学年)
 教科担当者:(1組:㊟)(2組:㊟)(3組:㊟)(4組:㊟)(5組:西㊟)(6組:㊟)
 使用教科書:
 使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	論理国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知 思 態			予定時数
				知	思	態	
4月	[導入] 言葉は平等な内面を作り出す	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらいを把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査		○	○	2
	[導入] 言葉は平等な内面を作り出す	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらいを把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
5月	[1] 若者に友達ブレッシャー	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらいを把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[1] 若者に友達ブレッシャー	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらいを把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	[1] 自分を捉え直す	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらいを把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[1] 自分を捉え直す	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらいを把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[1] 他者を理解する	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらいを把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	[1] 他者を理解する	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらいを把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[1] 他者を理解する	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらいを把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	論理国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	[2] 一人で爆笑	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	[2] 一人で爆笑	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	4
7月	期末考査			○	○	○	
	[2] カタカナ語は享受すべきか	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	4
	[2] カタカナ語は享受すべきか	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	論理国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月	夏季休業	夏季休業中のため、授業なし					
9月	[3] 多様な視点から考える	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[3] 多様な視点から考える	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[3] 多様な視点から考える	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[3] 多様な視点から考える	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[3] 女性／男性だから○	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
[3] 女性／男性だから○	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2	

指導内容 【年間授業計画】	論理国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	[3] 女性／男性だから○ ○	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[3] 女性／男性だから○ ○	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[4] ダイベート	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
11月	[4] ダイベート	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[4] ダイベート	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[5] ダイベート	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	論理国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	期末考査			○	○	○	1
	[5] 学びとは何か	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[5] 学びとは何か	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
1 月							
	[6] 私たちはなぜ労働する のか	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	4
	[6] 私たちはなぜ労働する のか	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[6] 私たちはなぜ労働する のか	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	論理国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	[6] 私たちはなぜ労働するの のか	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[6] 私たちはなぜ労働するの のか	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	[6] 私たちはなぜ労働するの のか	ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	2
3月	学年末考査			○	○	○	1